

気象庁地磁気観測所と通信総合研究所平磯太陽観測センターの発表によると、10月31日未明、太陽表面の大爆発（フレア）が観測された。

この時ならぬ天文現象の突発で、北極や南極など高緯度地方特有のオーロラの凜とした輝きが、午前5時頃の黎明な大気を押し、何と山梨県の八ヶ岳連峰の上空で見られた。今後も太陽表面の活動が活発化することが予想されると、秋岡センター長のコメント。夏の終わり8月27日の赤い星・火星の超長周期歴史的な大接近に続く、天文ショーに好事家ならずとも心が踊る。

これにナマズもつられた訳ではあるまいが、10時6分には福島県沖を震源とする地震発生。宮城県下の3箇所で震度4を観測。牡鹿町では、30cmの津波が観測後に発表された。天地で騒がしい1日の始まり。

気になる事故と発言が報道された。隣国中国の有人衛星の打ち上げは誠に喜ばしい。何かと老人性の目立ちたがり屋・人騒がせな石原都知事が、何を嫉妬したのかその気になれば、我国も1年以内に打上可能と事実無根の発言。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）期待の環境観測技術衛星「みどり2号」が、31日に突然通信途絶、JAXAは運用継続を断念。中国と我国衛星技術の彼我の差がひょんなことから露呈。知事の話はまたかの失笑。技術力の蓄積は一朝一夕に実らない。みどり2号の事故原因を、磁気嵐の影響との関係者の見方は否定できない。事実は、初代の失敗経験が衛星設計・製作・運用現場で生かされなかったとの指摘あり。昨今、JRや石油タンクの管理現場で、初歩的ミスが頻発。

多くのトラブルは偶然の重なりというより、我国技術者に本物の職人がいなくなった事があると憂慮を禁じえない。

多くの現場で、戦後偏差値教育の魔物・マニュアル人間の仕事振りが報告されている。

即ち、マニュアルにある事や指示された事は何とかこなすが、物の本質・原理追求の基本姿勢が欠落。為に、マニュアル外のトラブル発生を当り前とする事に思い至らない。よって、自分で突発事故処理をこなす責任感も技術も持合せていない。嗚呼。